



2024年11月26日

Stellantis ジャパン株式会社

## STLA Medium/Large に次ぐ Stellantis 3 番目の 新型プラットフォーム「STLA Frame」を発表

- フルサイズのボディ・オン・フレームのトラックや SUV 向けに設計された「STLA Frame」は多用途で、内燃エンジン車、ハイブリッド車、水素自動車、バッテリー電気自動車（BEV）、発電用にエンジンを搭載したレンジエクステンダー電気自動車（REEV）の技術をサポート
- ハイスケールな「STLA Frame」は、REEV で最大 1,100km、BEV で 800km の航続距離、1,224kg の積載量、6,350kg の牽引能力など、クラス最高の機能を提供することを目指す
- デュアル電気駆動モジュール（EDM）は、スムーズな独立サスペンションを備えた標準的な全輪駆動機能を提供
- 高い柔軟性を備えた「STLA Frame」は、400V および 800V の EV に対応した構造となっており、最大 350kW の DC 急速充電に対応、わずか 10 分で走行距離を約 161km 延長可能
- RAM および Jeep®ブランドの車両が「STLA Frame」を初採用

2024年11月19日、オランダ アムステルダム発

Stellantis N.V.は本日、北米およびグローバル市場の一部で重要なセグメントとなっている、ピックアップトラックおよび SUV 向けに設計された BEV のマルチエネルギープラットフォーム「STLA Frame」を発表しました。

フルサイズのトラックや SUV のオーナーは、妥協のないパワーと耐久性を要求し、性能、実用性およびパフォーマンスを重視します。STLA Frame プラットフォームは、REEV で最大 1,100km、BEV で 800km というクラス最高の航続距離、最大牽引能力 6,350kg、積載量定格 1,224kg を実現するよう設計されています。さらに、

このプラットフォームは最大 610mm まで水深の渡河をサポートしており、厳しい環境や多様なニーズに対応が可能です。

STLA Frame は、Stellantis のフルサイズピックアップトラック、小型商用車および SUV の基盤となり、当初は完全な BEV システムと REEV を含む革新的な動力源のラインアップを提供する予定です。STLA Frame は、将来的には内燃エンジン、ハイブリッドおよび水素エンジンにも対応できるようになります。

REEV システムは、バッテリー、前後の電気駆動モジュール(EDM)、オンボードジェネレーターおよび内燃エンジンを組み合わせたもので、これにより、ドライバーは航続距離を犠牲にすることなく、長距離にわたって重い荷物を運搬したり、重量のあるトレーラーなどを牽引することができます。エンジンが直接的な機械的経路を介して車輪を駆動するのではなく、ジェネレーターが EDM に電力を供給して車両を推進し、必要に応じてバッテリーを再充電し、負荷状態での航続距離を延長すると同時に、車両のダイナミクスを新たな高みに引き上げる電気モーターのトルクの恩恵を受けることができます。

「STLA Medium および STLA Large と同様に、STLA Frame は、前例のない航続距離と新たなレベルの機能と性能を組み合わせ、家庭で利用したり事業に活用したりするために、信頼性が高くパワフルなトラックや SUV を必要とするお客様にクラス最高の航続距離、積載量、牽引力を提供します」と Stellantis CEO のカルロス・タバレスは述べています。「間もなくフル EV および長距離 EV 技術が導入されますが、我が社は初めての電気自動車を試すのを躊躇している購入者に『妥協のない』ソリューションを提供します。私たちはこの驚異的なエンジニアリングを誇りに思っており、RAM と Jeep® の製品攻勢にこの技術が採用されることを、楽しみにしています。」

### **強度と効率性を追求した革新的な設計**

STLA Frame は、先進の高強度鋼を使用して製造されており、軽量化しながら耐久性と剛性が向上しています。幅が拡大されたセンターセクションにはバッテリーパックが収納され、側面衝突の際にバッテリーを保護する強化フレームレールが備えられています。車体下面全長を覆うアンダーパネルは空力抵抗を減らして航続距離を最大限に延ばすのに役立ち、パフォーマンスを犠牲にすることなく効率を高めるという Stellantis の取り組みを強調しています。

このプラットフォームは、BEV 航続距離が最大 800km、REEV 航続距離が最大 1,100km になるように設計されています。また、159kWh~200kWh 超の液冷式バッテリーパックを搭載することができます。さらに、将来のエネルギー貯蔵技術に対応できるように設計されており、今後何年にもわたる適応性を保証します。

Stellantis の設計、組み立てによる最大 250kW へ引き上げられたフロントおよびリアの電動モジュールは、全輪駆動機能を提供し、車両を 100km/h まで 4.4 秒で加速します。エアサスペンションを含む柔軟なサスペンション設計により、さまざまな走行条件や積載シナリオに合わせて最適化された乗り心地を実現します。

STLA Frame の主要寸法：

- 全長 : 5,488~5,941mm
- 全幅 : 2,062~2,124mm
- ホールベース : 3,143~3,690mm
- 最低地上高 : 168~262mm
- 最大タイヤ直径 : 834/838mm

### 充電の柔軟性と双方向充電

STLA Frame は急速充電をサポートします。BEV コンフィギュレーションでは、最大 350kW に対応する DC 800V 急速充電により、わずか 10 分で走行距離を約 160km 延長できます。一方、REEV では、最大 175kW に対応する DC 400V 急速充電により、10 分で最大約 80km を走行できます。

STLA Frame を採用した車両には双方向充電機能が装備されており、車両のバッテリーで別の EV を充電したり、緊急時に家庭に電力を供給、或いは送電することが可能です。

### 独自のマルチエネルギーアプローチ

STLA Frame プラットフォームは、Stellantis の戦略計画 Dare Forward 2030 の中核となる 4 つのグローバル BEV プラットフォームの 1 つです。2023 年 7 月に発表された STLA Medium および 2024 年 1 月に発表された STLA Large に STLA Frame が追加されたプラットフォームラインナップにより、Stellantis はさまざまな電動化導入シナリオに基づき、顧客に適切なソリューションを提供できるようになります。Stellantis のすべてのグローバル BEV プラットフォームは、バッテリーセル化学物質、EDM、パワーインバーター、ソフトウェア制御の互換性を確保することで、ライフサイクルを延長できるように設計・開発されています。

Stellantis は、2030 年までに欧州で乗用車 BEV 販売比率を 100%に、米国での乗用車と小型トラックの BEV 販売比率を 50%にするという野心的な目標を達成するために、同年まで電動化に 500 億ユーロを超える投資をしていきます。

以上

※ 当リリースは、オランダ アムステルダムにて 2024 年 11 月 19 日に発行されたプレスリリースの抄訳です。

[動画はこちら](#)

本国プレスサイト :

<https://www.media.stellantis.com/em-en/corporate-communications>

問い合わせ先 :

Fernão SILVEIRA +31 6 43 25 43 41 [fernao.silveira@stellantis.com](mailto:fernao.silveira@stellantis.com)

Nathalie ROUSSEL +33 6 87 77 41 82 [nathalie.rousseau@stellantis.com](mailto:nathalie.rousseau@stellantis.com)